

第10回ぎふ・関 全国子ども木の造形作品コンクール

作品集

関市子ども文化事業実行委員会

第10回ぎふ・関 全国子ども木の造形作品コンクール
作品集

■ 展示期間 _____
2022.2.12~2.13

■ 場所 _____
関市文化会館

■ 主催 _____
関市子ども文化事業実行委員会

■ 共催 _____
関市

■ 後援 _____
文化庁
岐阜県
岐阜県教育委員会
関市文化協会
関市教育委員会



全国子ども木の造形作品コンクール大会長
関 市 長
尾関 健治

関市は日本一の刃物のまちであるとともに、江戸時代に全国各地^{あんぎや}を行脚し、木から^{なた}鉋一丁で芸術性豊かな仏像を数多く残した「円空」^{しゅうえん}終焉の地であり、また、松尾芭蕉の弟子「蕉門十哲」のひとりとされている「広瀬惟然」^{ひろせ いねん}ゆかりの地でもあります。

関市では、「文化のまち」を全国にアピールするとともに、21世紀を担う子ども達の文化性・創造性を高め、豊かな心の育成に寄与することを目的に、関市子ども文化事業の取り組みとして、「刃物」と「円空」にちなんだ木の造形作品コンクールと「広瀬惟然」にちなんだ俳句コンクールを1年おきに開催しています。

昨年度は「全国子ども木の造形作品コンクール」の開催年でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の防止を最優先し開催を見合わせたため、今年度、3年ぶりに開催することになりました。

開催にあたっては、密を避けるために、共同作品の部の募集を行わないなど、感染症拡大防止のため最大限の工夫をし、みなさまのご協力により、無事に開催することができました。

今回、第10回を迎えた本コンクールは、全国から162点の作品の応募をいただきました。前回と比べて県外からの出品が増え、創造性が高く、クオリティの高い作品が目立ちました。

関市文化会館での展示期間中は、同施設内で子ども美術展も同時に開催予定でしたが、残念ながら中止となりました。本来ならばもっと多くのみなさまに見ていただくことができたのかもしれませんが、それでも、子ども達の心のこもった素晴らしい作品を見ていただけたことを大変うれしく思います。

今後、このコロナ禍が収束し、私達が日常を取り戻すことができたときには、このコンクールをさらに盛り上げていくことができることを願っています。

本コンクールを成功させることができましたのも、作品を作ってくれた児童生徒のみなさん、ご支援、ご協力いただきました関係者のみなさま方のお力添えあつてのことであり、深く感謝を申し上げます。

最後に、この作品集が子ども達の豊かな心を育てることに役立つよう、多くの学校や図書館で活用されることを心からご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



関市子ども文化事業
木の造形作品の部運営委員長
傍島 幹司

今回でこの「ぎふ・関全国子ども木の造形作品コンクール」は第10回を迎えることになりました。本来なら昨年開かれるところ、コロナ禍で本年度の開催となり、先ずはこうして展覧会が迎えられたことに感謝しています。

これも出品者の子どもたち、ご家族のご協力またスタッフの方々の尽力の賜物としてありがたく感謝しています。

この2年ほど、まだまだ続くかもしれませんがコロナの影響で人との関わりが制限されました。そのなかで子どもたちのほのぼのとした造形作品は観る人のところを和ませて微笑ましい気持ちにさせてくれます。もちろん作り手である子ども自身もワクワク楽しんで作ったであろうし、またそれを見守り手伝ってあげたご家族の皆さんも同様に楽しまれたと思います。

このようなことがものづくりの意義であり、この企画の趣旨でもあります。こうした造形作品は実際に役に立つとか使えるものではないことが多いですが、無駄だからこそ何か微笑ましく、また元気をもらえます。芸術を考える一つの契機でもあるでしょう。

さて今回の展覧会について審査員の先生方のコメントをご紹介します。
総評 コロナ禍で出品作品が減少したのはやむを得ないし共同作品が省かれたのも残念だが、「なんだこれは!」といった子どもながらの意表をつく作品やそのイメージに驚かされた。改めて子どもたちの創造力に感心した。

円空大賞「とびらの向こうへ」は6年生江崎凜太さん、4年生の心翔さんの兄妹の力作。サイズ、色彩とも総合的に素晴らしい。緑の門が効果的で勢いがあり、元気の出る作品だった。

金賞「おぜうかい」は5年生大坪あかりさんと2年生祐太さんの姉弟の作品。流木を「首」に見立ててモサモサした木の皮の羽根など木の質感の違いを活かした表現が良かった。

銀賞「思い出のアジサイの町」は中学1年生浮中碧衣さんの世界。こちょこちょと作っている楽しさが伝わってくる。茎が揺れて動きがありセンスがいい。

銅賞「象に乗れば以心伝心」は6年生水口幹大さんの力作。パッと見て「まさに象だ」と感じさせ、無邪気で屈託がない。

銅賞「水鳥の親子」小学校3年生青木謙征さんのユーモラスな作品。色付けが適切でほのぼのとしている。とぼけていて不思議な魅力がある。

以上ほかにも心温まる作品が多かったという感想でした。

このような企画展示が多く人びとに認知されて楽しんでいただけることを願っています。

■ ご挨拶

- ▶ 全国子ども木の造形作品コンクール大会長 関市長 尾関健治 …… 2
- ▶ 関市子ども文化事業木の造形作品の部運営委員長 傍島幹司 …… 3

■ 個人作品の部

- ▶ 円空大賞 …… 6
- ▶ 金 賞 …… 7
- ▶ 銀 賞 …… 8
- ▶ 銅 賞 …… 9
- ▶ 入 選 …… 10

※今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、共同作品の部の募集は行いませんでした。ただし、3人までのグループで制作したものは、個人作品として受付しております。

■ 開催概要 …… 20

■ 関連事業 木の造形創作教室（高学年）（低学年） …… 26

■ 謝 辞

- 作品集 作品寸法（幅×奥行き×高さ）

個人作品の部

賞 大 空 円
賞 賞
賞 賞
選 入



《とびらの向こうへ》 岐阜県多治見市立根本小学校 4年 江崎 心瑚 ・ 6年 江崎 凛太 110×90×100cm



《おぜうかい》 関市立瀬尻小学校 2年 大坪 祐太 ・ 5年 大坪 あかり 80×60×90cm



《思い出のアジサイの町》 関市立緑ヶ丘中学校 1年 浮中 碧衣 60×45×95cm



《水鳥の親子》 三重大学教育学部附属小学校 3年 青木 謙征 60×20×60cm



《象に乗れば以心伝心》 関市立桜ヶ丘小学校 6年 水口 幹大 90×60×75cm



《伝説のポケモン》

和田 彩良咲

関市立瀬尻小学校 3年

90×70×50cm

※入賞候補作品

《もくもくギター》

大坪 華実

関市立富岡小学校 6年

40×40×90cm

※入賞候補作品



《くすのきの帽子男》

道幸 玲雄

神奈川県藤沢市立大道小学校 2年

23×18×29cm

※入賞候補作品





《プテラノドン》

土屋 憂太

関市立金竜小学校 6年

115×104×60cm

※入賞候補作品

《カブトムシの昆虫園》

佐田 空

奈良市立三碓小学校 4年

56×56×105cm

※入賞候補作品



《KING OF KAMAKIRI》

長尾 哲汰

関市立下有知小学校 6年

60×170×70cm

※入賞候補作品

《お父さんカメと子供達》

塚原 大貴
関市立金竜小学校 6年
90×40×70cm



《流木ベンチ》

藤原 蜜
岐阜県中津川市立付知南小学校 6年
131×62×74cm

《初めて翔びたつ鷹》

市原 大翔
岐阜県美濃市立美濃小学校 5年
60×48×30cm





《なつの虫》
市原 姫菜乃
関市立桜ヶ丘小学校 2年
20×10×5cm



《イスの麒麟》
坂本 ひまわり
関市立下有知小学校 3年
40×36×120cm



《カブトムシの戦い》
小森 善
岐阜県立関特別支援学校中学部 1年
60×60×50cm



《破壊》

小嶋 勇矢

三重県立飯野高等学校 2年

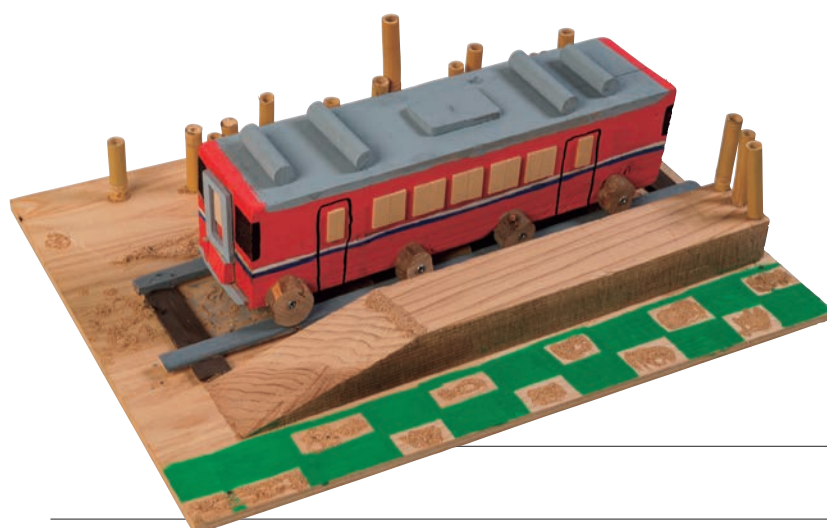
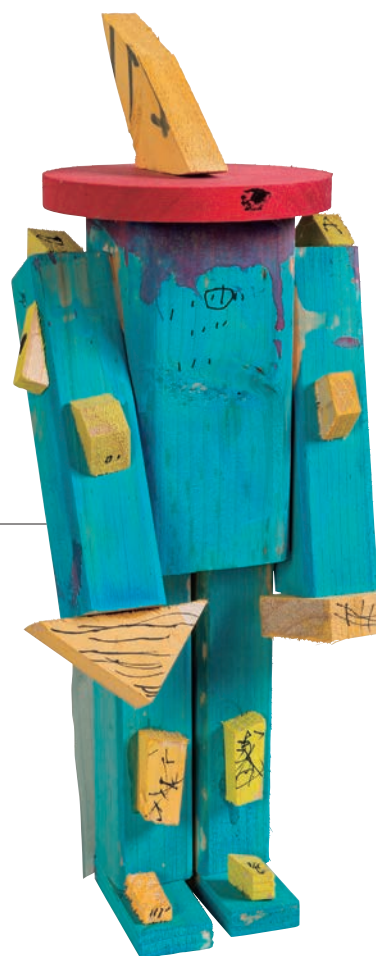
91×52×83cm

《正義のヒーローロボット 「エザ」》

須長 絃

長野県北佐久郡軽井沢町立軽井沢中部小学校 1年

12×9×29cm



《長良川鉄道》

山川 翔麻

関市立南ヶ丘小学校 5年

60×45×16cm



《ハリッネズミ》

良永 陽芽子

福岡県飯塚市立菰田小学校 2年

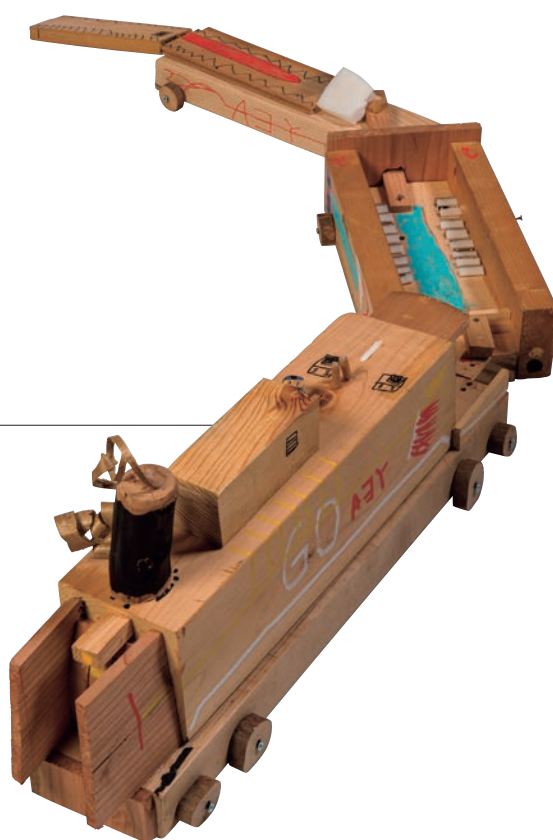
17×21×16cm

《ジェット機関車》

武藤 巧真

関市立桜ヶ丘小学校 6年

160×20×38cm



《組み立て本棚》

西部 尊

関市立旭ヶ丘小学校 4年

70×35×90cm



《木のうさぎ》

伊敷 花音

関市立田原小学校 1年

97×82×49cm

《とんでいけ！》

土屋 響生

関市立小金田中学校 1年

60×70×110cm



《夢をかなえるロボット》

水野 偉月

関市立倉知小学校 3年

70×20×60cm



《私の学校》

安藤 瑠那

愛知県立小牧特別支援学校高等部 3年

80×80×60cm

《ブランコがあるツリーハウス》

水野 莉月

関市立倉知小学校 5年

50×30×100cm



《ファイヤーブレスドラゴン》

辻本 彪汐

三重県津市立西が丘小学校 4年

45×47×53cm



《豚(仮)》

中舎 幸太郎

三重県津市立西が丘小学校 4年

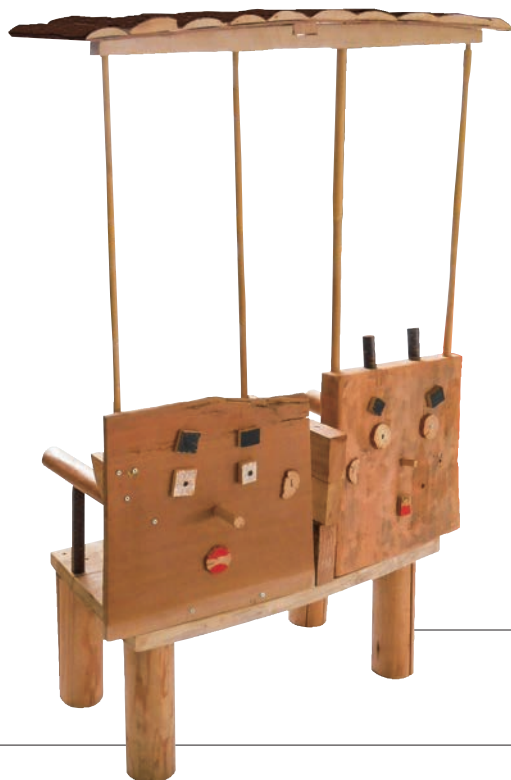
47×30×30cm

《きりんちゃん》

福田 萌那

関市立倉知小学校 3年

58×13×96cm



《顔つき屋根つきベンチ》

山田 悠市

関市立下有知中学校 1年

90×40×135cm

《ちょう》

武内 泉樹

岐阜県立岐阜聾学校小学部 2年

46×33×15cm



《お城》

松浦 光汰

愛知県立小牧特別支援学校高等部 3年

80×80×60cm



《にじいろねこ》

山中 聡美

関市立旭ヶ丘小学校 3年

51×22×60cm



第10回ぎふ・関 全国子ども 木の造形作品コンクール



作品募集

応募資格: 全国の小・中・高等学校及び特別支援学校に在籍する児童生徒

応募期間: 令和3年8月27日(金)→12月8日(水)

応募先: 〒501-3232 岐阜県関市桜本町2丁目30-1 関市子ども文化事業実行委員会事務局



展示期間: 令和4年2月12日(土)→13日(日) 午前9時～午後5時
(最終日は午後2時まで)

展示会場: 関市文化会館

主催: 関市子ども文化事業実行委員会 共催: 関市 後援: 文化庁・岐阜県・岐阜県教育委員会・関市文化協会・関市教育委員会

問い合わせ先: 関市子ども文化事業実行委員会事務局 〒501-3232 岐阜県関市桜本町2丁目30-1 TEL0575-24-6455 FAX0575-24-6950

前回(第9回)入賞作品



個人作品の部 円空大賞
トラかきようりゅうか? 木村 日向
関市立富岡小学校 4年



個人作品の部 金賞
ちよとつもうしん 北川 晴
関市立安板小学校 5年



共同作品の部 円空グランプリ
みたい。ききたい。はなしたい。
土岐市立西陵中学校 1・3年 西陵中の仲間たち



共同作品の部 金賞
我に返る
関市立富野中学校 1～3年

※今回は共同作品の部の募集は行いません

第10回ぎふ・関 全国子ども 木の造形作品コンクール

作品募集要項

はじめに

この作品展は、21世紀を担う子どもたちの文化性・創造性を高めるとともに、その取り組みを通して「豊かな心の育成」に寄与することを目的として、平成13年に第1回展を開き、今回で10回目を迎えます。

関市は、江戸時代に鉋で12万体の独創的な仏像を彫ったといわれる「円空」ゆかりの地であり、世界に知られる刃物産業の盛んな地です。この木の造形作品展では、その「円空」と「関の刃物」を結んで、全国の児童生徒の皆さんから作品を募集してきました。

今回も、子どもでしか考えられない発想、木のもつ色や形の面白さを考えて表現した、個性あふれる作品に出会えるものと期待し、全国各地から子どもらしさにあふれる作品をたくさん応募していただけることを願っています。

関市子ども文化事業実行委員会
実行委員長 清水 青風

作品募集

- 応募資格** 全国の小・中・高等学校及び特別支援学校に在籍する児童生徒
- 作品内容**
 - 切ったり、けずったり、くっつけたりした木の作品（素材は木を主とする）
 - ・大きさは縦・横・高さのどれか1辺が10cm以上で、縦・横・高さの合計が300cm以内のもの
 - ・重さは約100kg以下
 - ・色をつけてもよい
 - ・未発表の作品
 - ・輸送・展示に耐えられるもの
 - 今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、共同作品の部の募集は行いません。ただし、3人までのグループで制作したものは出品できます。
- 応募方法**
 - Web** 「関市子ども文化事業」ホームページの応募フォームに入力
 - Eメール** bunka@city.seki.lg.jp
タイトルは『木の造形（出品者名）』とし、記入した応募用紙をPDF化して添付してください。
 - 郵送** 〒501-3232 岐阜県関市桜本町2丁目30-1 関市子ども文化事業実行委員会事務局 宛
 - FAX** 0575-24-6950
FAX送信後は必ず事務局へ電話で連絡してください。（連絡先電話番号 0575-24-6455）
- 応募期間** 令和3年8月27日（金）～12月8日（水）

5 展示会場 関市文化会館 岐阜県関市桜本町2丁目30-1

6 作品搬入日 令和4年2月6日(日)・8日(火) ※7日(月)は休館日です。
●市内からの出品は、原則として出品者で会場へ搬出入してください。
●市外からの出品については、主催者が運送費を負担します。
作品管理の都合上、主催者の指定する業者を使っていただきます。
※作品搬入案内は12月下旬発送予定

7 審査員



高島 純
名古屋市生まれ
絵本作家



高橋 秀治
可児市生まれ
豊田市美術館 館長



河西 栄二
山梨県生まれ
彫刻家
岐阜大学教育学部教授

8 賞

円空大賞	1点	賞状、盾、図書カード	5万円
金賞	1点	賞状、盾、図書カード	3万円
銀賞	1点	賞状、盾、図書カード	2万円
銅賞	2点	賞状、盾、図書カード	1万円
入選	30点	賞状 図書カード	3千円

※審査の結果、賞に該当のない場合があります。
※円空大賞受賞作品の所有権は主催者に帰属するものとします。

9 作品展示期間 令和4年2月12日(土)～2月13日(日)午前9時～午後5時(最終日は午後2時まで)

10 表彰式 令和4年2月13日(日)午後2時～ 関市文化会館

11 作品搬出 令和4年2月13日(日)表彰式終了後～午後5時

12 問い合わせ先 〒501-3232 岐阜県関市桜本町2丁目30-1 関市子ども文化事業実行委員会事務局
E-mail:bunka@city.seki.lg.jp
TEL:0575-24-6455 FAX:0575-24-6950



『関市子ども文化事業』ホームページをぜひ、ご覧ください。
<https://www.seki-kodomobunka.net/>

(内容) ●コンクールの募集要項・応募用紙
●コンクールへの応募
●入賞作品の紹介

用紙が不足するときはコピーしてください。このとき、拡大したり、縮小したりしないようお願いいたします。
応募用紙と一緒に作品は送らないようお願いいたします。

第10回ぎふ・関 全国子ども 木の造形作品コンクール応募用紙

受付番号

①出品者について記入してください

ふりがな				ふりがな			
氏 名				保護者 氏 名			
学 校 名						学 年	年
住 所	〒 - () 都道府県				電話番号	自宅 携帯	- -

②【協力して作った場合のみ】協力した人について記入してください

ふりがな				ふりがな			
氏 名				氏 名			
学校名/学年	(年)			学校名/学年	(年)		
住 所	〒 - () 都道府県			住 所	〒 - () 都道府県		

③【作品の発送を学校等でとりまとめている場合のみ】とりまとめ担当者について記入してください

学 校 名				担当者名			
住 所	〒 - () 都道府県			電話番号			

④作品について記入してください

作 品 名			大 き さ	(幅) cm ×	(高さ) cm ×	(奥行き) cm
※3辺の合計が300cm以内						
ここに作品写真を貼るか、作品のイメージ図を立体的に描いてください。(作品展示の際の参考にします)						

■作品応募状況

応募者内訳

校 種		市内	県内	他県	合計
小 学 校		70	19	19	108
中 学 校		9	0	1	10
高等学校		0	1	4	5
特別支援学校	小学部	0	12	0	12
	中学部	5	0	12	17
	高等部	5	0	5	10
合 計		89	32	41	162

※その他未就学児作品1点（展示のみ）

○個人作品 162 点

※今回、共同作品は募集をしていません

■応募地域

北海道 埼玉県 神奈川県 東京都

長野県 愛知県 岐阜県 三重県

大阪府 奈良県 福岡県

■入賞入選状況

校種別入賞入選状況

校 種		円空大賞	金賞	銀賞	銅賞	入選	合計
小 学 校		1	1	0	2	23	27
中 学 校		0	0	1	0	2	3
高等学校		0	0	0	0	1	1
特別支援学校	小学部	0	0	0	0	1	1
	中学部	0	0	0	0	1	1
	高等部	0	0	0	0	2	2
合 計		1	1	1	2	30	35

地域別入賞入選状況

校 種		市内	県内	県外	合計
小 学 校		17	3	7	27
中 学 校		3	0	0	3
高等学校		0	0	1	1
特別支援学校	小学部	0	1	0	1
	中学部	1	0	0	1
	高等部	0	0	2	2
合 計		21	4	10	35



審査会



作品展示会場



表彰式

関連事業 木の造形創作教室（高学年）（低学年）

令和元年度 「木の造形創作教室」実施要項

- 1.趣 旨 「第10回ぎふ・関 全国子ども木の造形作品コンクール」(2020年度実施)の関連事業として実施する。子どもたちが、自分の想いや夢を形にする創作活動の支援を行う。
- 2.対 象 「第10回ぎふ・関 全国子ども木の造形作品コンクール」(2020年度実施)に出品したいと願っている関市内の小中高等学校及び特別支援学校の児童生徒。
- ※ 「木の造形創作教室・高学年の部」は小学校4年生以上の児童生徒から参加者を募集し、時間をかけてじっくり作品作りに取り組む内容にする。
 - ※ 「木の造形創作教室・低学年の部」は小学校1年生から3年生までの児童から参加者を募集し、木の造形に親しみがもてる内容にする。
 - ※ 「全日程への参加」「保護者による送迎」「写真・感想等の協力」「コンクールへの参加」を申込段階で確認をする。
 - ※ 個人作品の制作に限定し、共同作品の制作希望者の参加は認めない。
- 3.内 容 指導者の支援を受けて、コンクールに出品する作品制作に当たる。
- 4.主 催 関市子ども文化事業実行委員会
- 5.主 管 関市立中池自然の家
- 6.日 程
- 5月下旬 募集要項配布
 - 6月中旬 参加申込受付期間終了
 - 6月下旬 参加案内発送(アレルギー調査、作りたい物10個リストを同封)
- 「木の造形創作教室・高学年」(小学4年～高校生)
令和元年7月31日(水)～ 令和元年8月2日(金) (3日間参加)

「木の造形創作教室・低学年」(小学1年～3年)
令和元年8月7日(水)、8日(木) (参加できるのはこのうちの1日)
- 7.会 場 関市立中池自然の家(関市塔ノ洞3885-1)
- 8.定 員
- 高学年24名、低学年30名を定員とする。
 - ・平成30年度木の造形創作教室に参加していない児童生徒を対象とする。
 - ・参加者多数の場合は、抽選により決定する。
 - ・参加者決定後、すべての応募者の保護者と学校へ結果を連絡する。
- 9.指導者及びスタッフ
- ・指導者は、参加者の作品制作の指導にあたる。(指導者は、運営委員会で決定する。)
 - ・スタッフは、指導者を補佐し、参加者の制作活動を援助すると共に、指導者・参加者の活動全般を援助する。
- 10.費 用
- ①参加費として1人1日当たり800円を徴収する。参加費は食費・保険代に充てる。
 - ②作品制作のための材料・用具の主たる物は、主催者で準備する。
※特別な金具・用具については参加者と中池自然の家で相談する。
- 11.その他
- ①参加者は中池自然の家のきまりを守って生活する。
 - ②作品は、「第10回ぎふ・関 全国子ども木の造形作品コンクール」に出品する。
 - ③参加者は、作品を最終日に家庭へ持ち帰り、コンクールへの搬入は各自で行う。
※事務局による作品の預かりやコンクールへの搬出入は行わない。

令和元年度

■参加者数

教室名	参加者数
「木の造形創作教室（高学年）」7月31日（水）～8月2日（金）	25名
「木の造形創作教室（低学年）」8月7日（水）	31名
「木の造形創作教室（低学年）」8月8日（木）	30名

■「木の造形創作教室」講師

（開催当時）

氏名	略歴等
傍島 幹司	画家 運営委員
石原 通男	画家 運営委員
佐部利 典彦	美術家 富山国際大学講師
後藤 譲	彫刻家
土屋 明之	中部学院大学短期大学部特任教授 運営委員
二村 元子	造形作家
長沼 克己	彫刻家
長屋 芳美	救護員
加納 吉廣	林業
河西 栄二	岐阜大学教育学部美術教育講座 教授

令和2年度

■中止

令和3年度

■中止

木の造形創作教室

令和元年度

講師の先生から道具の安全な使い方を学んだあと、作品のイメージ作りをしました。椅子や本箱などの既成の製品イメージから脱却することが大きなテーマです。



作りたい作品をイメージして材料を探しているところ。山のようにあった材料が見る見るうちになくなっていきます。



作品作りがスタートしました。自分がイメージした作品を形にするために集中して取り組みます。必要に応じて着色もしました。



子ども運営委員のお兄さん・お姉さんのアドバイスを受けながら作品作りをしています。完成が楽しみです。



講師のアドバイスを受けながら制作活動に取り組む児童。



令和2年、令和3年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になりました。



令和3年には中池自然の家で、材料が無償提供されました。

謝 辞

本事業の推進に当たりまして、諸機関・
諸団体から貴重なご指導ご助言を賜りました。
また、資料提供、材料提供等においても多大
なご支援ご協力を賜りました。関係の皆様に
深く感謝申し上げます。

第10回ぎふ・関 全国子ども木の造形作品コンクール 作品集

企画・編集	関市子ども文化事業実行委員会事務局
発行者	関市子ども文化事業実行委員会 〒501-3232 岐阜県関市桜本町2丁目30-1 TEL 0575-24-6455 FAX 0575-24-6950
発行年月日	令和4年3月15日
印刷	協同印刷株式会社

